

令和4年度第2回湯沢町地域公共交通活性化協議会 議事録

日時	令和4年7月25日（月）10:00～11:30
場所	湯沢町役場3階 大会議室
次第	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 議事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議題1 湯沢町の現状の交通環境について ・ 議題2 地域公共交通計画策定に向けた考え方について ・ 議題3 実態アンケート調査について <p>3. その他</p>
出席者	<p style="text-align: center;">所属・役職・氏名（敬称略）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 湯沢町長 田村 正幸 ・ 湯沢町 産業観光部長兼 観光商工課長 南雲 剛 （代理）観光商工課主任 酒井真紀子 ・ 湯沢町 健康福祉部 福祉介護課 南雲 重幸 ・ 湯沢町 子育て教育部長兼 教育課長 古川 健一 ・ 湯沢町 子育て教育部 子育て支援課長 丸山 由和 ・ 新潟県 交通政策局 交通政策課長 齋藤 昌幸 （代理）政策企画員 古市寛之 ・ 新潟県 南魚沼地域振興局 企画振興部参事 佐藤 浩幸 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 越後湯沢駅長 千代 達彦 ・ 北越急行株式会社運輸部 部長 桑原 信之 ・ 南越後観光バス株式会社 取締役乗合部長 川上 洋一 （代理）代表取締役社長 塩入誠司 ・ 湯沢町タクシー協会（ゆざわ魚沼タクシー(株) 営業部長）深井 静男 ・ 新潟県 南魚沼地域振興局 地域整備部 計画調整課 中川 俊一 ・ 湯沢町 地域整備部 建設課長 宮田 玲 ・ 国土交通省 北陸信越運輸局 交通政策部 交通企画課長 玉巻 史成 （代理）課長補佐 伊藤健一 ・ 国土交通省 北陸信越運輸局 新潟運輸支局 首席運輸企画専門官 島谷 尚之 ・ 国立大学法人長岡技術科学大学 都市交通研究室 教授 佐野 可寸志 ・ 大字神立代表町内会長 松山 正博 ・ 大字湯沢代表町内会長 山本 茂正 ・ 南越後観光バス株式会社労働組合 執行委員長 有馬 真悟 ・ 一般社団法人湯沢町観光まちづくり機構代表理事 岡 淳朗 ・ 社会福祉法人湯沢町社会福祉協議会事務局次長 角谷 洋 ・ 湯沢町商工会事務局長 南雲 健一（代理）室長 梅田朝夫 <p>（欠席）・株式会社エンゼル観光 本社営業所長 高橋 哲也</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国土交通省 北陸地方整備局 長岡国道事務所 計画課 瀧澤秀則 ・ 大字三国代表町内会長 綿貫 富雄・大字三俣代表町内会長 高橋 和男 ・ 大字土樽代表町内会長 南雲 悦夫・南魚沼警察署 交通課長 高橋 益栄

内容	
(1. あいさつ)	
事務局	ただ今から令和4年度第2回湯沢町地域公共交通活性化協議会を開催いたします。本日の協議会については、過半数以上の出席をいただいていることから、規約に基づき会議が成立していることを報告させていただきます。本会議は規約により原則公開で行うこととしておりますが、議事の内容によっては非公開とすることもできます。事務局といたしましては本日の内容は公開して差し支えないと考えておりますが、本日は公開でよろしいでしょうか。
委員	(異議なし)
事務局	それでは、本日の会議は公開とさせていただきます。本日は傍聴者2名が傍聴されます。次第1 あいさつ 会長の田村よりご挨拶を申し上げます。
田村会長	(あいさつ)
(2. 議事)	
事務局	次第2、議事以降は、協議会規約に基づきまして会長から進行いただきます。それでは、田村会長よろしく願いいたします。
(議題1 湯沢町の現状の交通環境について)	
田村会長	議題1「湯沢町の現状の交通環境について」事務局から説明をお願いします。
事務局	資料に基づき、議題1を説明
川上委員 (代理) 塩入氏	・ 路線バスは新型コロナの影響を受けて赤字が膨らんでおり、維持が困難な状況にある。特に、利用客の少ない夏季の運行について課題を感じている。 ・ 湯沢版 MaaS のような取り組みを実施する際は早めに伝えてもらいたい。
田村会長	・ 新型コロナの影響を受け、経営が厳しいことは理解している。 ・ 湯沢版 MaaS について今後の計画はどのようになっているか。
事務局	・ 湯沢版 MaaS 事業について、今後の予定は未定であるが、昨年の実証実験の結果を注目されていることを受け、事業を進めるにあたっては関係者と早めの協議を意識しながらより良いものとなるよう進めていきたい。
深井委員	・ ゆざわ魚沼タクシーの営業時間について、2:30~5:00 は営業していない。ドライバーの高齢化から深夜の営業は厳しい。
事務局	・ 資料は修正をする。 ・ 運行事業者の皆様と協力しながら様々な工夫で、高齢化等の問題解決に取り組んでいきたいと考えている。
岡委員	・ 観光振興計画内に2次交通を課題として挙げている。 ・ 代行事業者及び、観光事業者等の送迎サービスについて実態調査を進めてもらいたい。
事務局	・ 代行事業者は調査し、計画に反映する。 ・ 送迎サービスの実態については湯沢町観光まちづくり機構と協力しながら、包括的な調査をさせていただきたい。
田村会長	・ 代行事業者は湯沢町内に1社存在し、2台の車両で運行していると記憶している。飲食店にとっても必要な情報であることから調査・検討いただきたい。 ・ 議題(1)について、承認してよいか。
委員	(異議なし)

(議題2 地域公共交通計画策定に向けた考え方について)	
田村会長	議題2「地域公共交通計画策定に向けた考え方について」事務局から説明をお願いします。
事務局	資料に基づき、議題2を説明
山本委員	・ QOLなどの専門用語の解説を入れてほしい。
事務局	・ 今後、丁寧に用語説明を入れるようにする。
川上委員 (代理)	・ サービス水準について、停留所までの距離150m以下とあるが、利用者増のためにバス停の増設は必要だと考えている。
塩入氏	・ バス停の設置については警察・道路管理者の協力を得ることが必要であるため、設置の必要な場所については適宜情報共有をしてもらいたい。
事務局	・ バス停の設置については、必要に応じて議論していきたい。
佐野 副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ エリアに応じたサービス水準を定めるのは良いことだと思うが、水準を決める指標がほかにもあった方が良い。 ・ エリアに応じたサービス水準を適用する際には、個別の地域の状況を考慮すべき。 ・ 外国人やリゾートマンション居住者にもわかりやすい仕組みが必要である。 ・ 湯沢版MaaSがどのような使われ方をされている説明してほしい。 ・ 福祉バス、スクールバスも含めて活用の可能性を検討すること。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス水準の仕様については、佐野副会長に意見を伺いながら検討していきたい。 ・ 外国人に限らず、案内・情報提供の強化については必須であると認識している。次回の協議会を目途に方針を提示したい。 ・ 湯沢版MaaSについては、主に観光客と岩原地区のマンション住民に多く利用いただいた。 ・ 福祉バスについては計画の中でどのようにしていくかは検討していく。 ・ スクールバスは路線バスを活用しており、計画の中で方針を検討していく。(神立の一部の地区、三国・三俣地区については専用のスクールバスを運行)
深井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決済システムの導入についても考えていただきたい。 ・ 計画策定までの工程表を示してもらいたい。 ・ 事業規模、予算を示してほしい。 ・ タクシー、バスの位置情報(GPS)の活用も見据えてもらいたい
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 決済に方法については、各事業者の計画も含めて協議し、計画に反映したい。 ・ 工程表については、次回の協議会で示す。 ・ マネタイズは重要だと考えている。まずは、事業規模、予算について、提案サービス水準を達成するためにいくらかかるのか、また、路線の重複等でかかっているコストはどの程度なのかを把握し、計画の中で事業スキームに関する議論を深度化したい。 ・ タクシー、バスの位置情報(GPS)の活用について、DXの観点からも検討を進めていきたい。

玉巻委員 (代理)	・ 地域公共交通計画の方針 (p21) の「鉄道・路線バス」に加え、タクシーも追加すべき。公共サービスの抜けが無いようにしてもらいたい。
伊藤氏	・ 湯沢町内に存在する様々な交通モードを活用(地域輸送資源の総動員)し、湯沢町にマッチする計画を策定してほしい。
事務局	・ タクシーを追加して記載する。 ・ 地域輸送資源の総動員を図り、議論・検討を進めていく。
田村会長	・ 議題(2)について、承認してよいか。
委員	(異議なし)
(議題3 実態アンケート調査について)	
田村会長	議題3「実態アンケート調査について」事務局から説明をお願いします。
事務局	資料に基づき、議題3を説明
玉巻委員 (代理)	・ 観光客については既存の調査を活用するとあるが、近年の調査だと新型コロナの影響を受けているため注意が必要。
伊藤氏	・ 自由意見も可能であれば追加してもらいたい
事務局	・ 新型コロナの影響を考慮しながら、昨年度の MaaS 事業での調査や、過去の観光系の調査の活用を検討する。 ・ 自由意見についても調査票設計時に考慮する。
角谷委員	・ 町内の幅広い人の意見が取り入れられるよう、調査対象に偏りが無いようにしてもらいたい。 ・ 自由意見を設け、細やかなニーズをくみ取ることのできる調査としてほしい。
事務局	・ 福祉輸送も含めて、幅広い声が聴ける工夫を行う。 ・ 自由回答から細やかなニーズをくみ取れるよう意見の整理方法を検討する。
岡委員	・ 新型コロナの影響による事業者の困りごとや、新たな事業者の声を把握しきれていないため、幅広い意見を取り入れられるようにし、実行性のあるものにしてもらいたい。
事務局	・ アンケート調査を進める中で対象等についても検討をする。
田村会長	・ 議題(3)について、承認してよいか。
委員	(異議なし)
田村会長	進行を事務局に返します。
(3. その他)	
事務局	委員の皆様から何かありますでしょうか。
川上委員 (代理)	・ 10月から定期バスの運賃改定を行う。中距離・長距離の路線を中心に運賃を上限までに引き上げる改正を行った。ご理解頂きたい。
塩入氏	
角谷委員	・ 道路運送法に基づく地域公共交通会議を兼ねるということだが、計画策定後、この協議会は継続するのか。
事務局	・ 計画から実装後の検証や見直しが必要なため、会議を継続して実施したいと考えている。
事務局	・ 次回(第3回)は11月に開催予定。

■ 協議会の様子

